

●取材のご案内●

＜まちづくりの未来についてのシンポジウム＞

「FACE 2023 対面すれば、生まれる未来。」

～ UX：アーバントランスフォーメーションへの挑戦 -ポストシリコンバレーの行方- ～

2023年11月28日（火）14:00～17:30（受付/13:30）

場所：丸ビルホール

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下、大丸有まちづくり協議会）は、東京都心部にあるビジネスの中心地、大丸有（大手町・丸の内・有楽町）地区の未来のまちづくりについて、様々な領域から多彩な有識者、専門家、実践者の方々をお招きし、都市の課題について深く議論し、展望を共有するシンポジウム「FACE 2023 対面すれば、生まれる未来。」を11月28日（火）に実施いたします。

本シンポジウムのテーマは「UX：アーバントランスフォーメーションへの挑戦 -ポストシリコンバレーの行方-」です。（HP: <https://face-omy.jp/>）

大丸有まちづくり協議会では、“人”を中心に据えた都市変容（アーバントランスフォーメーション）の実現は、都市における価値創造の源泉となり、大丸有地区にとどまらず、競争力を生み出すまちづくりの中心テーマになると考えています。本シンポジウムでは、シリコンバレー等のクリエイティブシティの在り方を事例として紹介しながら、今後のアーバントランスフォーメーションを戦略的に起こすシナリオについて意見を交わします。

「都市の持続可能な成長」と「個人のウェルビーイング向上」の両立が求められる時代にあって、テクノロジーと融合するクリエイティブな学問領域、産業領域は何なのか。そうした領域融合を活発化させる協創の場づくりを展開する都市を「WELL CITY」と仮定し、その実現に必要な要素について有識者・実践者の皆様とパネルディスカッション形式で議論します。

ご多忙とは存じますが、是非、ご取材をご検討いただければ幸いです。

■「FACE 2023 対面すれば、生まれる未来。」概要■

日時：2023年11月28日（火）14:00～17:30（受付/13:30）

場所：丸ビルホール（東京都千代田区丸の内2丁目4-1 丸ビル7F）

・世界の都市イノベーションの状況、大丸有地区が目指す都市ビジョンの解説（三菱総合研究所）

・パネルディスカッション①「ポストシリコンバレー/クリエイティブシティの現状と今後」

モデレーター：重松 眞理子（大丸有まちづくり協議会 都市政策部会長 兼 スマートシティ推進委員会委員長）

パネリスト：南雲 岳彦（一般社団法人スマートシティ・インスティテュート専務理事）/高木 聡一郎（東京大学大学院情報学環 教授）/古賀 千絵（東京大学 先端科学技術研究センター 特任助教）/渡邊 哲（株式会社 マキシマイズ シニアパートナー）/古田 秘馬（株式会社 umari）（順不同）

・パネルディスカッション②「領域融合によるイノベーション創発」

モデレーター：井上 成（エコツェリア協会 理事）

パネリスト：中村 政人（東京藝術大学 社会連携センター副学長/副センター長）/飯田 香緒理（東京医科歯科大学 統合イノベーション機構 教授・オープンイノベーションセンター長）/吉川 稔（東邦レオ 代表取締役社長）/齋藤 精一（パノラマティクス主宰）（順不同）

テーマ詳細：

① **ポストシリコンバレー/クリエイティブシティの現状と今後**

イノベーション・クリエイティブな都市として成長したシリコンバレー。その現状と課題を踏まえ、あるべき姿としての“人中心”都市とはどのようなものなのか、様々な分野のパネリストをお招きし、理論と実践両面で議論します。



② **領域融合によるイノベーション創発**

“人中心”都市への変容には、芸術文化やウェルネス等のソフト施策が領域を超えて融合し、イノベーションを創発していくことが必要ではないか。そのような仮説のもと、領域融合に必要なファクターについて議論します。



〈ご取材 お申し込み方法〉

下記のメールアドレスに必要事項をお送りいただきますようお願いいたします。

tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

共同ピーアール(株) 内山、田口 宛

- ① 貴社名：
- ② 媒体名：
- ③ 部署名：
- ④ 御氏名： (他 名)
- ⑤ メールアドレス：
- ⑥ TEL：
- ⑦ ご要望等： 個別取材など

〈大丸有まちづくり協議会 35周年について〉

大丸有まちづくり協議会は1988年の設立から本年で35周年を迎えました。当初は大丸有地区再開発計画の推進に向け、主にハード面から街の将来像を描くことを軸とし、公民協調による協議を重ねて参りましたが、ビル単体に留まらない魅力ある場の創造や、都市活動を支えるエリアマネジメントといった、まちづくりのソフト面が果たす役割が重要視されていく中、約100棟のビルと、大手町から有楽町まで全長約1.6kmに及ぶ仲通りなどの公的空間を含めた「面」で取り組む価値創造を進めております。今後も、各領域の先端を担い続ける街であるために様々な活動を推進してまいります。



〈本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先〉

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりPR事務局 共同ピーアール(株) PRアカウント本部 11部 担当：内山・田口

TEL：070-4303-7327 / 090-7739-1083 E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp